



Beyond KUSS , 2025 !!



出願は「受験の肝」

最後の定期考査、おつかれさまです。来週からは特別時間割授業になります。残り少ない中等教育学校での生活。「あこがれの先輩」として、最後まで気持ちよく過ごしましょう。

また、来週から出願に向けての面談も始まります。出願は「受験の肝」です。自身を成長させる出願、納得できる出願、後悔しない出願等々、しっかり覚悟し、判断しましょう。

私立大学出願について悩んでいる人が多いようです。「第1志望」の大学はあるけれども、「浪人したくない」という「合格しないかもしれない症候群」に襲われているようです。出願は「受験の肝」、自身の決断を信じ出願を判断してください。

Q1 学部と大学のどちらを優先するか迷っています。

⇒ よほどのこだわりがない限り、大学を優先する方が無難です。学部・学科にこだわりすぎると、選択肢が狭まります。

Q2 国公立に関してどの時期までに決定すれば良いのか不明な所が多いです。

⇒ 2月5日の出願締切日に間に合えば、いつでも大丈夫です。

Q3 中期と後期を受けるかで悩んでいます

⇒ 「第1志望」以外の大学への出願を勧めることはありません。後期日程、中期日程に出願する場合、「進学したい」と考えることができる大学にしましょう。

Q4 国立大工学部と私立薬学部合格した場合、どちらに行くべきでしょうか。

⇒ 薬剤師資格取得を優先するなら薬学部です。私立薬学部の授業料は1000万円を上回ります。資格取得後、それに見合う収入を期待できるかは微妙です。工学部、農学部等から製薬会社の研究職に就職することは可能です。

Q5 雰囲気味わうために私立も受けるよう勧められています。

⇒ 「第1志望」を国立大学にしている場合、私立大学を受験しても慣れにはなりません。なぜなら、受験生の層がずいぶん異なります。また、私立大学は受験会場を数多く設置しており、国立大学の受験会場と雰囲気はずいぶん異なります。雰囲気味わうことができるのは、合格発表を待つドキドキ感です。そのドキドキ感が「第1志望」の国立大学に向けての学習にプラスの影響を与えることはありません。

Q6 浪人はしたくないので、合格確率の上がる様な私立出願も考えています。

⇒ 私大の約6割は定員割れ状態です。合格可能性が高い大学はいくらでもあります。そのような大学に進学したいなら、出願してください。また、多くの人が進学したい私立大学はそれなりの競争があり、合格可能性は低くなります。出願には覚悟が必要です。

Q7 私立の一般を受けるべきなのか迷っています。精神的に浪人して後一年頑張れる気がないので現役で大学に行きたいのですが、私立は受けるにも通うにもお金がかかるし一般だとその対策のための時間も必要だしなあ…という感じです。2月の初めの方は学校型推薦の面接対策も必要なので私立一般もとなると国立二次の勉強がおそろかになりそうで不安です。そもそも共テでこけると共テ利用なんか受かるはずないんですけどね…

⇒ 希望して浪人する人はいません。全力で受験した結果として生じる事象です。前期日程に向けて全力を尽くしたいのであれば、私大受験は大きな障壁になります。卒業生で浪人している人たち、誰も希望していません。しかし、4月からこれまでの期間、全力で学習を続けています。どの選択が正解かはわかりません。見方を変えれば、どの選択でも正解です。出願には覚悟が必要です。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2025 !』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。

出願希望調査集計結果

1か月の間に2度進路希望調査を行いました。直近の調査は、進路希望というよりは出願希望、出願予定校になります。出願は「受験の肝」です。1か月の間に微妙に変化が生じている人もいます。集計状況は下記のとおりです。出願は、ひとりひとりの決断がすべてです。親のせいにするとか、学校のせいにするのでは、納得できる出願にはなりません。

出願・受験・進学は本人が納得しない限り、プラスにはなりません。30年前の受験状況と現在はまったく異なります。現在と30年後の受験状況はもっともっと異なります。大学受験を、大学進学を自身の人生のプラスにできる出願を決断してください。

<今回の調査>

<1か月前の調査>

省略

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2025!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。